

単元名 (旧)トトロ、カチコチ・ワールド(立体)

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 材料を切ってつないだり組み合わせたりいろいろ試しながら、表し方を工夫することができる  
(2) 自分の表したい世界を思い付き、液体粘土や他の材料を生かして、形や色、組み合わせなどを考えることができる。  
自分の気持ちを話したり、友達の話の聞いたりしながら、作品の共通点や相違点、表現をとらえることができる。  
(3) 自分の想像した世界を液体粘土で表す活動を楽しもうとする。

### 標準的な展開例

04080206\_001

【準備等】液体粘土、凹凸をつくりだすための材料（例 空き缶、空瓶、木切れ、空容器など）、バット（容器）、タオル（布）、段ボールカッター、水彩絵の具、雑巾、バケツ、木工用接着剤、化学接着剤、綿、ビーズ、段ボールなど

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 教科書の作品を見て、活動イメージをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品を見て、気づいたことや、感じたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ケーキの色や形が本物みたいに見える。</li> <li>布がおもしろい形に固まっている。</li> <li>布が柔らかそうに見えたり、堅そうに見えたりする。</li> </ul> </li> <li>★自分の想像した世界を液体粘土で表そう</li> <li>液体粘土の特徴や扱い方を知る。</li> </ul> <p>2 材料の組み合わせ方や布のしわの様子などを試しながら自分の想像した世界に合う形や感じにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き缶などの容器にかぶせる。</li> <li>材料を組み合わせながら固める。</li> </ul> <p>3～4 固まった形に、色をぬったり、様々な材料を組み合わせたりして、自分の想像した世界を立体に表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>固まった布を絵の具で着色する。</li> <li>様々な材料を組み合わせながら飾る。</li> </ul> <p>5 作品を友達と見合い、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分や友達の作品のよさを話し合う。（言語活動）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 3・4 下 P. 28, 29</li> <li>教科書の挿し絵を基に、布に液体粘土を浸す手順点や注意点など、活動のイメージをもてるようにする。</li> <li>液体粘土は広い容器に入れて布に浸すとよい</li> </ul> <p>【評】液体粘土の感触や質感を楽しむ活動を通して、「造形への関心・意欲・態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>布を水に浸して軽く絞ってから液体粘土に浸すようにさせる。</li> <li>作品を移動させることができるよう、個人用の段ボール等を用意し、活動するようにする</li> </ul> <p>【評】自分の表したい世界を思い付き、液体粘土や他の材料の特徴を生かして思いに合う形や色、組み合わせなどを考える活動を通して「発想や構想の能力」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの想像した世界とそれに合う形や色、材料の組み合わせ方、面白さや、感じの違いなどについて気付かせるようにする。</li> </ul>

【 備 考 】